

投資開発事業

投資開発事業本部長メッセージ

投資開発事業本部長
吉見 和行

投資開発事業では、当社が掲げる「2030年に向けたビジョン」の実現に向け、変化していく社会のニーズに柔軟に対応し、社会の持続的な発展に寄与するため、総合インフラストラクチャー企業として、社会資本の整備・維持を積極的に推進しています。

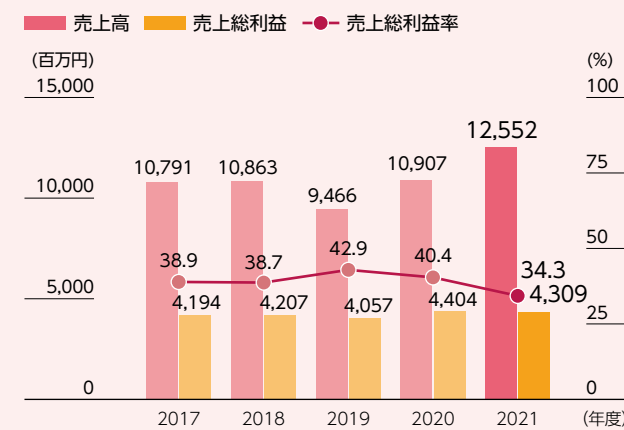
2022年度からスタートした「中期経営計画(2022~2024年度)」では、引き続き不動産事業と新事業(再生可能エネルギー、公共施設における官民連携事業、農業・水産業を通じた地域事業など)を基軸として、積極的に投資を進めていきます。

特に2022年度は、新事業として当社が初めて取り組んだ再生可能エネルギー発電事業である石狩バイオマス発電所および福島県平田村バイオマス発電所が本格稼働します。これらの事業を、順調に推し進めることにより、地球環境に優しい再生可能エネルギーの安定供給に貢献していきます。

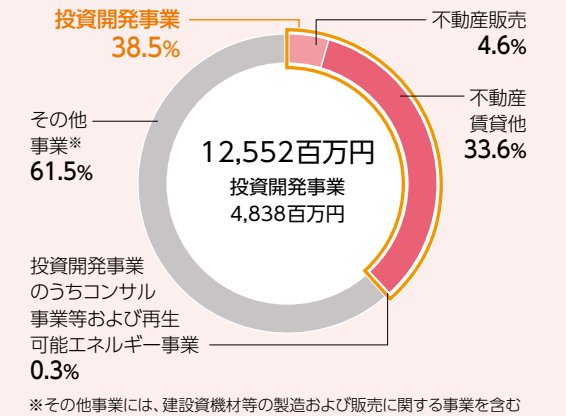
また、不動産事業では、賃貸・販売事業の推進を図り、まちづくりとしての面的開発事業への取り組みを進めます。投資開発事業として、人的な拡充も進め、土木事業、建築事業とも連携しながら当社グループで一丸となり、当社の収益基盤の一翼を担う事業としての確立に挑戦します。

投資開発事業およびその他事業の業績(連結)

売上高・売上総利益(率)



売上工種別内訳(2021年度)



事業概要

投資開発事業では、不動産事業の強化および新事業への参入により、事業領域の拡大を図っています。不動産事業では、賃貸事業、開発事業のほか、再開発・土地区画整理事業に取り組んでいます。新事業では、再生可能エネルギー発電などのエネルギー事業、PPP/PFI、コンセッションなど官民連携のほか、地方創生に貢献する事業など社会の持続的な発展に向けた取り組みや、社会の需要を先取りした新たなビジネス機会の発掘を目指しています。

不動産事業や新事業を通して総合インフラストラクチャー企業を目指し、環境・社会の課題解決、SDGsに貢献するさまざまな事業への投資を積極的に行っていきます。

投資開発事業の主な取り組み

不動産開発

- 不動産開発事業
- 不動産賃貸事業
- 市街地再開発事業
- 土地区画整理事業

新事業開発

- PPP/PFI、コンセッションなどの公共施設運営事業
- 再生可能エネルギー事業
(バイオマス発電事業、バイオガス発電事業、小水力発電事業など)
- 農業(夏秋いちごの栽培・出荷・販売事業など)
- 水産業(スマート養殖・閉鎖循環式陸上養殖)

主な事業



再開発事業:多治見駅南地区第一種市街地再開発事業(岐阜県多治見市)



PPP/PFI事業:貝塚新庁舎整備事業(大阪府貝塚市)



農業:株式会社軽井沢いちご工房への出資(長野県軽井沢町)



再生可能エネルギー事業:石狩バイオマス発電事業(北海道石狩市)



再生可能エネルギー事業:平田村バイオマス発電事業(福島県平田村)



水産業:バナメイエビのスマート養殖実証実験

TOPIC

持続可能で安心・安全な水産業への取り組み [閉鎖循環式陸上養殖実証実験]

国内の担い手不足などによる天然漁獲量の頭打ちや海面養殖での環境負荷など、水産業を取り巻く状況が深刻化の一途を辿る中で、世界的に閉鎖循環式の陸上養殖に注目が集まっています。

閉鎖循環式は微生物の力を用いた浄化システムを利用し、水のかけ流しを行わずに再利用する養殖方式で、環境面における貢献、トレーサビリティ確保による食の安全性、内陸地での地方創生などさまざまな可能性が期待できます。

当社は2021年10月より、閉鎖循環式陸上養殖を事業として成立させるために必要な技術について実証実験を開始しました。当社技術研究所ではトラフグの飼育、また他社と共同でバナメイエビの高生産性実現を目指す「スマート養殖」実験も進めています。



水槽内を泳ぐトラフグ